

令和元年度招魂祭

7月1日、剣淵町大通りにて、招魂祭音楽行進が行われ、その後、町民センター大集会室にて、令和元年度招魂祭式典が行われました。この招魂祭は、毎年剣淵町と招



町民センターに設置された戦没者祭壇



陸上自衛隊第二音楽隊の演奏

魂祭奉賛会が行っており、祭壇前で遺族や来賓者、一般参加者が戦没者に追悼の意を込め献花と参拝をしています。

式典前の音楽行進では、町内大通りを小学校5・6年生の児童や中学校の吹奏楽部が楽器を演奏しながら行進しました。また、今年も昨年に引き続き陸上自衛隊第二音楽隊（旭川駐屯地）も出演していただき、音楽行進に引き続き町民センターで演奏を披露していただきました。この演奏を通じ先人の方々への感謝の気持ちを表していました。

式典では、早坂町長が「昭和から平成、令和の時代と移り変わるなかで、平和の尊さを大切にしたい。思いを次世代に継承し、安全安心に暮らせる平和な社会づくり、豊かな地域づくりに向けて絶え間ない努力を続けていきます。」と祭詞を述べ、北海道連合遺族会の伊東良孝理事長は「私たち戦没者遺族会は世代の立場を越えて、国に殉じられた方々の慰霊の追悼、顕彰を継続し、国の伝統、文化、良俗を守り続ける決意であります。」と追悼の言葉を述べられていました。

～招魂祭での音楽行進のようす～



♪ 素敵な音色が街と心に響きわたりました ♪